

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	障害者生活支援事業		コード	福祉事務所障害者福祉係
			02-01-03-14	担当者 坂本 寛
事業実施期間	平成17年4月1日～平成18年3月31日		電話	内線183
総合計画 事業(政策)体系	大項目	健康でやさしさあふれるまちづくり		
	中項目	やさしさあふれるまちづくり		
	小項目	障害者(児)福祉		
	施策	在宅福祉サービスの充実		

事業について	
目的	障害者が住みなれた地域で安心して快適な社会生活が送れるよう保健、医療と連携し、介護者のニーズに応えるようサービスの充実を図る。また、やむを得ず地域での生活が困難になり、更生援護施設での生活を行う者に対し援護を行う。
対象(誰のために)	知的・身体・精神障害者
内容	ホームヘルプサービス、デイサービス、ショートステイ、グループホーム、施設サービス等

事業の結果	
実施項目	17年度
	回数など (単位)
ホームヘルプサービス	62 人
デイサービス	23 人
ショートステイ	22 人
グループホーム	6 人
施設サービス	87 人

事業費 (単位:千円)	事業費	財源	事業費	財源	事業費	財源
	直接事業費	269,095	国庫補助金等	148,416	直接事業費	
	人件費	2,010	受益者負担		人件費	
	合計	271,105	市債		合計	0

必要人員	0.30	人
------	------	---

結果指標①	結果指標名	ホームヘルプサービス	
	結果指標量	62	
	単位	人	
	対前年比	-	
結果指標②	事業費	19,287,000	円
	単位当たりコスト①	311,081	円
	結果指標名		
	結果指標量		

事業の成果	
成果指標名	式又は説明
成果指標量	17年度
対前年比	-
到達目標値	到達目標年度

事業の成果	
成果指標名	式又は説明
成果指標量	17年度
対前年比	-
到達目標値	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である結果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		課題認識
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	利用者又は利用者の家族の希望するサービスを受けることができるよう相談及び援助を行っている。
	対象の妥当性	
	市民ニーズの妥当性	
効率性の評価	市民ニーズの妥当性	国の定める基準に沿った援助を行っているが、18年度からは原則1割の自己負担が必要となる。
	市の関与の妥当性	
	コストの効率化	
有効性の評価	手段の最適化	18年度施行の障害者自立支援法によりサービス提供内容が変更となる。
	職場の効率化	
	目的達成度	
総合評価	市民参画度	評価区分 <A~E> B
	成果向上の可能性	
	市民参画度	

総合評価		評価区分 <A~E> B
コメント	18年度からの障害者自立支援法の施行の伴い、サービス提供内容の変更、自己負担の導入、事業所の事業体系変更等制度が大きく変わるため、障害者への周知が必要となる。	

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度結果指標量①	結果指標量②
目標値	成果指標量

改善事項	
評価の視点	改善内容
有効性	新制度の導入の周知
	改善時期
	改善により期待される効果
	18年度
	利用者及び利用者家族の理解